

ワールドキョウタナベ
TOURdeKYOTANABE

～踏み出せ！^{あす}未来へのペダル～

日本大学法学部 福島ゼミナール A

京田辺市は、自然豊かで文化財も豊富なまちである。

 しかし...

【問題提起】

京田辺市は、「ヒヤリハットマップ」という、自転車と歩行者を対象とした交通危険箇所を集めたマップを発行するなど、自転車事故を減らすために様々な政策を行っているが、過去5年間のデータを見ると、**自転車事故は一向に減っていない。**

自転車事故の占める割合は中高生が高率であり、自転車乗用中の死者のうち半数以上が高齢者である。京田辺市の人口はこれに沿うように、事故を起こしやすい中高生と事故遭遇時に重大事故につながりやすい高齢者が共に増加しているため、**今後重大事故の増加が予測される。**

 そこで...

【私たちの政策提言】

私たちは、京田辺市の豊かな自然と豊富な文化財を活かしつつ、問題点を解決できる、『**TOUR de KYOTANABE**』というイベントの開催を提言する。

【政策の概要】

1、内容

オープニング・マナー講習

大会前に、法律に沿った自転車の整備の仕方、交通信号・標識などの交通規則、安全走行（原則車道の左側通行、並列走行の禁止、歩行者優先など）を確認する。

実際に自転車に乗って京田辺市内を走る（大会概要、大会規定）

- ・順位を争うレースではなく、正しい自転車の乗り方を確認するための市民参加型サイクルイベントである。
- ・安全走行と速度超過防止のために1グループ5名程度でグループを形成し、先導者をつける。
- ・警音器、前照灯、リフレクター、前後ブレーキの装着など、法律に沿った整備が行われている自転車を使用することとする。
- ・安全確保のためにヘルメットを着用する。
- ・整備された自転車には「一休さんシール」を付与、コースのブロックごとにルール

を守れた人にもシールを付与、シールを多く集めた人にはベストマナー賞を贈呈。

2、イベントの運営

	役割	メリット
京田辺市民	・競技とボランティアで参加 ・自転車講習	・自転車の正しい知識の習得 ・自然・文化の再認識
学校	・学生、生徒の参加を促す ・交通安全教室の実施	・学生、生徒の事故減少 ・学校間交流
地域企業	・給水ポイントでの協力 ・イベントの協賛	・宣伝効果 ・地域経済の活性化
警察	・交通整備 ・マナー講習の補助	・事故の減少 ・円滑な業務の可能
自治体	・イベントの主催 ・各アクターをつなげる	・協働の推進 ・市内の活性化

⇒ それぞれが一体となって『TOUR de KYOTANABE』は開催される！

3、コース

田辺公園 一休寺 澤井家 木津川サイクリングロード 三山木駅 普賢寺ふれあいの駅

↓
ところで...

4、自転車について

自転車を持っていない人、整備されていない自転車を持つ人は参加できないのか...!?

↓
実は...

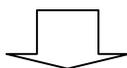
京田辺市には、**放置自転車**の問題もある。H22年度の京田辺市内の放置自転車数は、1,253台で、その内返還できなかった993台は廃棄されている。

そこで私たちはこの自転車を利用するために次の2つを考えた。

整備した自転車をイベント参加者に貸し出す。

平常時は「Re:サイクル」として貸し出す。通常のレンタサイクルとは違い、「Re:サイクル」は借りた場所と同じ場所でなくても、市内数か所に設けた拠点ならどこにでも返すことができる。

【京田辺市の将来】 『TOUR de KYOTANABE』の開催



自転車の正しい運転の仕方が身に付く

標識や整備の正しい認識



京田辺市の自転車事故減少！！